

令和7年度 牧之原市立川崎小学校 学校評価の結果報告と考察

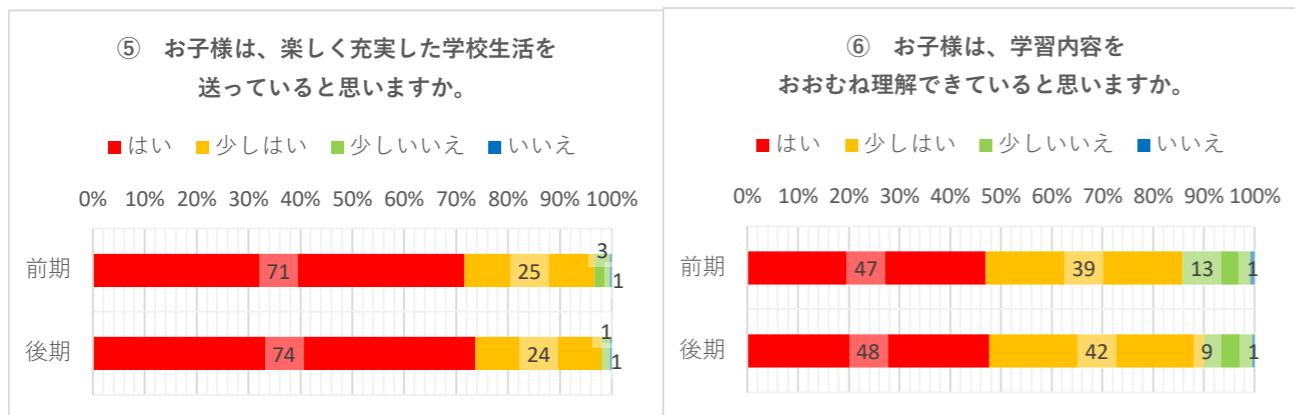
本年度も前期（6月）と後期（11月）の2回、児童、保護者、教職員にアンケート調査を行いました。アンケート結果をもとに考察したことを紹介します。

なお、本年度の重点目標は「ふやそうハッピー つくろうハッピー」（令和6年度は「みんなでもっとハッピー」）です。

“ハッピー”は、学習や生活場面など学校のあらゆる場面で「それはハッピーか」「ハッピーな状態になっているのか」と児童も教職員も自らや集団に問い合わせ、判断基準として用いてきた言葉です。

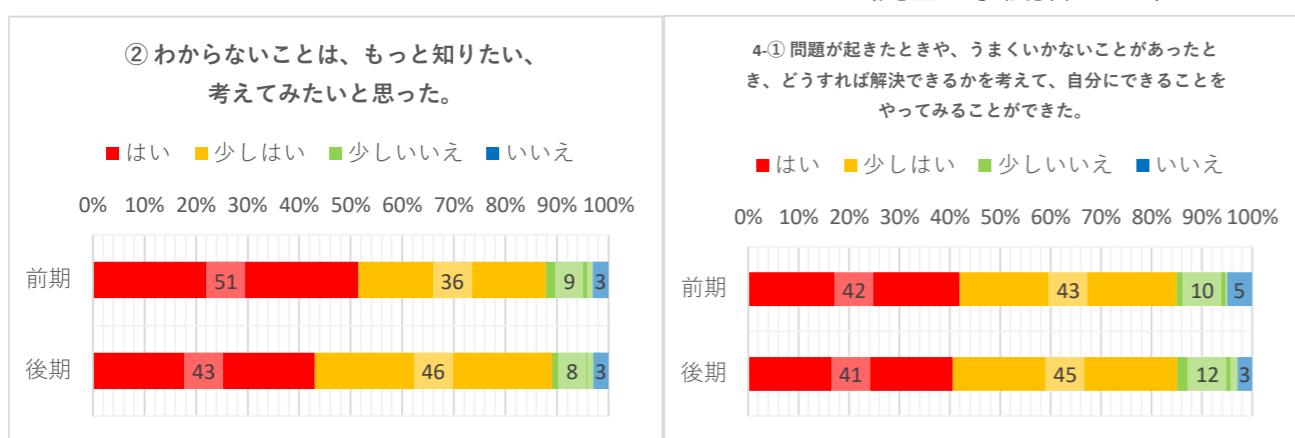
1 本校の児童のよさは、以下の点です。

- 明るさと素直さを兼ね備えています。（教職員の学校評価から）
- 楽しく充実した学校生活を送っています。（保護者の学校評価から）
- 学習内容をおおむね理解しています。（保護者の学校評価から）
- 同学年や他学年の友達、登校班のメンバーなど、他者への配慮を示すことができます。（児童の学校評価から）
- 学校行事や係活動、委員会活動に友達と協力しながら取り組んだり、自ら考えて行動したりすることができます。（教職員の学校評価から）



2 本校児童が「課題である・苦手である」と感じているのは以下の点です。

- わからないことを知りたいという思いは維持されていますが、「はい」と強く肯定する子が減少し、「少しあい」に移行しています。このことから『探究心の深度』が浅くなっている可能性があると推察しています。（児童の学校評価から）
- 学校生活での協調性や自律的な意思決定の意識は向上していますが、「問題が起きたときやうまくいかないことがあったとき、どうすれば解決できるかを考えた」に否定的な回答（少しあい・いいえ）をした児童の割合は依然として高い状況です。指示によらない自発的な行動力が後退していると推察されます。（児童の学校評価から）



3 保護者の皆様から寄せられた文章回答の一部を紹介します。

なお、文意を損なわないように加筆や修正等をした部分があることを申し添えます。

・給食の時間が気になり、学校へ行く事が不安になってしまった事があったけれど、先生が向き合ってくれたおかげで、普段通り学校生活を送れるようになりました。担任先生や保健室の先生にはとても感謝しています。

→教職員の関わりが児童の安心・安全に寄与できたことを嬉しく思います。今後も全ての教職員が全校児童の担任であるという思いをもち、各自の専門性を生かした指導を継続していきます。

・学年があがってきたので仕方ないのかもしれませんのが宿題が多いかなと思います。追い付くのが必死で、寝る時間が遅くなってしまい少し可哀想に思えます。

→毎日、家庭学習に取り組んでいることが伝わります。川崎小学校は家庭学習で『学んだことを身に付ける』『自ら学ぶ習慣を付ける』の2点をねらいとしています。市が育みたい資質・能力の一つである「基礎的な知識・技能」は身に付けるものです。家庭学習では、お子様の努力の過程を認め、励ましていただければと考えています。

・以前は欠席する場合や忘れ物をした際に、担任の先生に電話で連絡していたので、普段の子供の様子や、先生の人柄がわかり安心していました。現在、欠席連絡はオンラインですし、忘れ物をしても取りに行けないきまりです。先生方の業務効率化は私共も願うところですが、保護者面談があったとしても教室での子供たちの様子は密室になりやすい状況です。おかげさまで今のところ、我が子の様子を見ても悩みは無さそうで、安心しております。けれどもトラブルがあった場合、スムーズに保護者と教員で連絡が取り合えるのだろうか、という不安はあります。先生方には、密室にならない環境で、普段からあたたかく、子どもたちの様子を見守っていただきたいと願っております。

→御意見ありがとうございます。児童はそれぞれが自分の思いをもち友達と関わり合っています。そのため、思いや考えにズレが生じることもしばしばです。児童は多様な思いを抱えながらも折り合いをつけ、他者理解を進めています。これも「ハッピー」につながるのではないでしょうか。教職員も児童同士の大きなトラブルに発展しないように気を付けていますが、お気づきの際には遠慮なくお知らせください（緊急の場合は学校携帯）。学校の留守番電話や下校後に忘れ物を学校へ取りに行かないようにするなどの対応に保護者の皆様にも御協力いただきましたこと感謝申しあげます。「文部科学大臣メッセージ」「静岡県教育長メッセージ」を受け、子供の多様な学びを大切に持続可能な学校運営を目指した取組です。今後も少しずつ改革を進めてまいりますが、学校生活に関することで心配がありましたら遠慮なくお知らせください。

・下校時にお迎えに行く事があります。その時、上級生が道路に広がって歩いている姿をよく見かけます。端に避けて車との接触を避けたり、交通の妨げをしてしまわないように気を付けて下校したりしてもらえたならハッピーになるのになあと思います。今一度道路での安全を再確認し、怪我や事故に繋がらない方法を考えて欲しいです。わが家でも話しています。

→お知らせありがとうございます。本校では牧之原警察署や交通安全協会に依頼し、1年生から4年生の児童を対象に「交通安全教室」や「自転車免許証の交付」を実施しています。さらに、「交通安全リーダーと語る会」を主催し6年生と地域の方が通学路の安全な歩行や危険箇所について意見交換をしています。このような取り組みをしてきましたが、今回のお知らせのような表れがあつたことは残念でなりません。学校でも交通安全は継続して指導してまいりますので、御家庭でもお子様にお伝えください。よろしくお願いします。

・今年は防災活動を一年を通して学習し、大学で講義を受けたり、地域の方と協力して防災訓練をしたりと、今までに無い経験をたくさんする事ができました。毎日忙しく楽しく充実した学校生活を送る事ができ、最高な最終学年を送る事ができます。

→『起郷家教育』では「ア-スラブ（5年）」「命と防災ア-スラブ（6年）」を実施しています。どちらも探究的な活動を通して「次代を切り拓く力」を育成することが目標です。地域や高等教育機関との連携は児童と教職員が学びをダイナミックにデザインした先進的な実践例でもあります。前年度踏襲の学びではなく児童と教職員が織りなす独自色の強い活動で児童の資質・能力を育成していきます。